時事新報

第千三百五十三號
明治十九年八月十三日　金曜日
舊丙戌七月十四日（乙巳）
日出午前五時十八分　日入午後六時五十一分　月出午後五時十一分　月入午前三時四十分
滿潮午前四時四十二分　午後五時零六分
（西暦一千八百八十六年）

時事新報定價
一枚金三錢〇一箇月前金六十五錢〇三箇月前金一圓八十錢〇六箇月前金三圓四十錢〇一箇年前金六圓五十錢〇郵便稅一箇月金廿六錢〇一箇年金三圓十二錢〇左ニ掲クル各地ニ於テハ該地賣捌所ヨリ遞送無料ニテ配達致候（但本社ヨリ直接郵送スルモノハ此限ニアラズ）
●東京・横濱・横須賀●神奈川、藤澤、大磯、小田原、西根七澤、韮山、修善寺、三島、沼津、原、吉原、興津、清水、静岡、濱松、島田、藤枝●大坂、京都、大津、和歌山●神戸、岡山、笠岡、尾ノ道、福山、廣島、徳島、高知、下ノ關、長崎●名古屋、岐阜、岡崎、豐橋、四日市、桑名、津、松坂、山田●仙臺、福島、二本松、白石、石ノ卷、函館、青森、弘前●高崎、小諸、岩村田、上田●宇都宮、鹿沼、八王子、千住、越ヶ谷、粕壁、杉戸●千葉、佐倉、東金、八幡、船橋、市川
其他同地近傍配達便宜ノ個所ハ同シク遞送料不申受候

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至三十行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢

時事新報

演劇改良（昨日の續）

我國の俳優は社會に對して其位地甚だ卑く位地卑きが故に身の責任甚だ輕く甘んじて名敎外の輩たるが如くなれども文明社會にては演劇を以て文治敎育の一端とするの趣あれば俳優も亦自重せざる可らずとて我輩の嘗て助言せし所なるが俳優なるものは其行狀を愼しむの外に文明の學識を具へざる可らず西洋の演劇などは或る人が講談師の掛合の如しと評したるに違はず言語應對十の八九を占め然かも其言語は極めて優美嫻雅なるものを用ひ俳優の言葉は談話の模範とも爲る程なれば苟にも規則外れの語法を許さず倫敦の或る劇場にて有名なる俳優がシェーキスピヤのハムレットを演ずるに當り其俳優の見識を以てAkinと云ふ字をSkinと讀みしに忽ち學者間の疑問と爲り贊成駁論一ならず果ては有名なる新聞紙の論説に上りたることあり俳優言辭の容易ならざる想ひ見るべし左れば西洋の俳優は多くは高等の敎育を受けたるものにして當時英國第一流の俳優アーウヰン氏の如きは頗ぶる哲理に通ぜるやの評判あり斯くて好俳優は夫れ〱の見識あるが故に好脚本を得て之を舞臺に演ずるに當りて扮裝態度の優美を示すは勿論、觀客の感情を察して或は之を刺衝するに餘りに激切ならんとの恐もあらば體裁よく脚本中の一部分を隱蔽し去ることあり例へばシェーキスピヤの脚本中に或る男が嫉妬の爲めに其妻を寢床上に縊殺するの場あれども有名なる俳優某が之を演ずるに當りて其縊殺の處を截ちて之を人に示さゞりしと云ふ又俳優の不注意にて其擧動の觀客を激することあれば忽ち不評判を來すを免れず倫敦の或る劇場にて家僕が其部屋に歸り來り汚れヅボンを振ふ處を演じたるに觀客は大に其不敬を怒りて忽ち此演劇の聲價を墜したることあり文明社會禮儀のやかましき世の中にては俳優技藝上の注意も亦容易ならずと知る可し

前篇より陳述し來りたる如く劇場を新築して其道具立と改良し脚本著作と學術文章の士に任じて之を演ずる俳優の注意を要し日本國の演劇として之を外國人に示して毫も愧づる所なきものと出來たる處にて扨て其演劇が果して日本人全體の好尙に適して興行毎に大喝采を博す可きや如何我輩の豫知する能はざる所なれども我輩が爰に演劇改良と云ふは一時に全國無數の演劇を改良せんとする譯柄に非ず世態人情の進化するに連れて都人士の好尙自から變化し舊來の野蠻演劇を以て其情を慰むるに足らざるのみならず外交も頻繁にして外國人の來遊も多きことなれば此等の人々の爲に差當り首府に新劇場を設けて文明流の演劇を開かんことを希望するに過ぎず且つ其改良演劇とても敢て六ヶ敷き言詞脚色を用ひて通俗の旨に負かんとするに非ず又其脚色より男女の情交を除き去りて興味索然禪宗坊主の相談會の如くならしめんとするにも非ず唯從來の演劇より文明人の眼に忌はしき部分を除き去り優美高尙の旨を存するに至れば夫れにて滿足する者なり即ち今の中以上の人情に適せんとする者にして必ずしも人々は必ず之を見ることを樂しむことならん若し夫れ下等人民か或は田舍漢に至りては思想簡單にして其感覺遲鈍なるが故に今の東京新富座の演劇にても尙或は其無味高尙なるを感じて之を見て欠伸を催うする者もあらん試に田舍芝居を見るに岩永左衛門は赤鬼の如き面にして甚ぶ惡態、重忠は色白く眼凉しくして善人の如く「同じやうに座になら（ん）で殿様顔してござれどもいきかたは雪と墨」なる趣は阿古屋と俟て知らざるあり思想簡單なる田舍人は斯る演劇を賞翫するなるべしと雖ども優美なる都人士に至りては之を見て其情を慰むるを能はざる可し即ち人の文野に由りて其好尙を異にする所以なり故に全國無數の劇場を悉く文明高尙ならしむるは固より望む可らずと雖ども、せめて東京の府中には一の文明劇場なかる可らず然るに今東京に於て優美なる紳士貴女の眼に適する演劇なしとすれば此等の士女の來觀を目的として改良劇場を開くこと甚だ大切の事なる可し演劇改良家は今の人心の勢に乘じて速に其功を成その覺悟ある可きものなり

（完）

官報

○警視廳告示第九號
虎列刺患者ニシテ左ノ項目ヲ具ヘ病毒傳播ノ虞ナシト認ルトキハ自宅ニ於テ療養セシム
（一）家族ノ居間ト隔離シ得ヘキ室（二）患者專用ノ便器（三）特別ノ看護人（四）特別ノ家具什器（五）相當ノ主治醫

明治十九年八月十二日　警視總監三島通庸代理　警視副總監綿貫吉直

●流行地虎列刺

流行地	月日	新患	新舊死亡
京都府（內上下両京區ニ新患四人新舊死亡三人）	八月十日	五人	二人
大阪府（內四區西成郡ニ新患百二十二人新舊死亡百二十一人）	同	百九十六人	百七十三人
神奈川縣（內横濱區ニ新患三十九人新舊死亡三十八人）	同	九十一人	五十一人
長崎縣（內長崎區ニ新患三十一人新舊死亡十四人）	同	四十八人	二十七人
三重縣	同	十一人	六人
岡山縣	同	十八人	十四人
廣島縣	同	五十三人	三十八人
山口縣	同	五十九人	二十七人
愛媛縣	同	三十六人	二十九人
佐賀縣	同	十四人	十八人
合計		新患五百二十三人	新舊死亡三百六十九人
長崎縣（內長崎區ニ新患十一人新舊死亡六人）	八月九日	三十七人	十三人
新潟縣（內新潟區ニ新患十八人新舊死亡八人）	同	百五十五人	七十五人
千葉縣	同	六十四人	二十九人
福井縣	同	百三人	六十一人
富山縣	同	百三十八人	七十三人
島根縣	同	二十八人	十七人
岡山縣	同	二十二人	十二人
山口縣	同	四十人	十九人
高知縣	同	四十九人	三十五人
福岡縣	同	三十四人	十四人
佐賀縣	同	八人	七人

○流行地外虎列刺　埼玉縣去る九日十日新患九人內死亡三人、栃木縣去る九日新患十二人、死亡七人、群馬縣一昨十日新患十人、新舊死亡七人、山梨縣去る九日新患四十一人、死亡十五人、茨城縣去る二日より七日迄新患十五人內死亡七人、秋田縣去る九日新患五十四人、新舊死亡八人、青森縣去る七日より九日迄新患二十六人、新舊死亡九人、山形縣一昨十日新患八人、長野縣去る九日十日新患三十四人、新舊死亡十四人、静岡縣去る八日九日新患四人、新舊死亡五人、愛知縣去る七日八日新患十六人、死亡十二人、鳥取縣去る六日より十日迄新患四人內死亡二人、徳島縣去る九日新患九人、死亡七人、熊本縣去る二日新患三人新舊死亡三人あり（以上本年八月十二日官報）

雜報

○銀行會社割賦金一覽表（一昨日の續）
私立銀行及諸會社配當利割表

銀行會社名稱	株金（圓）	十九年上半季利割（割、分厘）
武州八王子仝	三〇〇、〇〇〇	〇、九〇
同青梅仝	八〇、〇〇〇	一、〇〇
八王子武相仝	一〇〇、〇〇〇	〇、三〇
下野烏生仝	八〇、〇〇〇	〇、六七五
八王子東海貯蓄仝	一〇〇、〇〇〇	〇、九〇
長野長野仝	一〇〇、〇〇〇	〇、五〇
信濃上田仝	一〇〇、〇〇〇	〇、六〇
信濃岩村田佐久仝	一五〇、〇〇〇	〇、四〇
信濃須坂仝	一五〇、〇〇〇	〇、七二
信濃松本仝	一五五、〇〇〇	〇、八〇
同小諸仝	一一〇、〇〇〇	〇、七〇
遠江掛川仝	四五〇、〇〇〇	〇、七五
同静波町東遠仝	一三〇、〇〇〇	〇、九〇
駿河藤枝仝	一五〇、〇〇〇	〇、八〇
駿河清水仝	一〇〇、〇〇〇	〇、六〇
下野佐野仝	七〇、〇〇〇	〇、八〇
尾張名古屋仝	二〇〇、〇〇〇	〇、九〇
名古屋伊藤仝	一〇〇、〇〇〇	〇、七〇
尾張一宮一宮仝	一〇〇、〇〇〇	〇、八〇
伊豆韮山伊豆仝	三二五、〇〇〇	〇、七五
大坂木原仝	一〇〇、〇〇〇	〇、四〇
同小田仝	一〇〇、〇〇〇	一、二〇
美濃岐阜仝	六〇、〇〇〇	一、二〇
越中富山仝	一〇〇、〇〇〇	一、〇四
近江滋賀仝	一〇〇、〇〇〇	〇、七〇
播磨姫路仝	一〇〇、〇〇〇	一、〇八
美作津山仝	一〇〇、〇〇〇	〇、九六
伊豫宇和島仝	一〇〇、〇〇〇	〇、九〇
肥前佐賀古賀仝	一〇〇、〇〇〇	〇、九五
肥前伊萬里仝	三七〇、〇〇〇	〇、九〇
陸奥八戸階上仝	一〇〇、〇〇〇	〇、七〇
越後三條會社	二五〇、〇〇〇	〇、八四
東京日本鐵道會社	◒六、六四八、一五二	〇、八〇
同海上保險會社	一、〇〇〇、〇〇〇	〇、九〇
東京瓦斯會社	二七〇、〇〇〇	一、〇〇
東京米商會所	一〇〇、〇〇〇	二、〇〇
近江米商會所	三〇、〇〇〇	一、二〇
京都七條米商會所	三〇、〇〇〇	一、〇〇
赤間關米商會所	三〇、〇〇〇	一、四四
岡山米商會所	三〇、〇〇〇	〇、七三
松山米商會所	三〇、〇〇〇	〇、六〇
桑名米商會所	三〇、〇〇〇	〇、五〇
徳島米商會所	三〇、〇〇〇	〇、四三
金澤米商會所	三〇、〇〇〇	二、三五
新潟米商會所	三〇、〇〇〇	〇、六〇
名古屋米商會所	三〇、〇〇〇	一、〇五
東京株式取引所	二〇〇、〇〇〇	四、〇〇
大坂株式取引所	一〇〇、〇〇〇	一、二〇
横濱株式取引所	一〇〇、〇〇〇	〇、六〇
大坂紡績會社	六〇〇、〇〇〇	〇、八五

右の外銀行會社中にて未だ回答なき者は略そ
表中◒は拂込濟の株金あり
（完）

○石狩川汽船會社　石狩川は北海道中第一の大河にして沿河一帶曠原の地は桑麻を始め百穀地味に適し山岳には鑛物及材料に富
下流の各村落だに近
不便なるに因るもの
高木和一郎氏が多年
て汽船の便を開かん
設立せんことを北海

○織物改良　從來
輸出せるも彼地の需
量あるが去りとは未
きにあらざればとて
物と染色とを改良せ
しめんと頻りに計畫
より同會へ持出たる
も頗る廉なりし
兵を巡査又は工場
ありと云ふ

○硫酸製造會社　大
高は百五十二萬七千
半季の製造高に比す
國へ輸出高の減ぜ
し一晝夜の出高は凡

○磯部鑛泉　上州磯部
東京上野鶯溪に開店
本磯部村も亦從て繁
を以て湧生社なる一
して該社獨り之を管
赴くに隨ひ鑛泉の供給
從來務て之を他に賣
ヶ谷各一箇所及東京
し尤も近來同村民が
掘出したれども孰も
次第なれば鑛分も頗
の地床は地面下一尺
鑛泉自然に湧れ來りて
と近頃東京に於て鶯溪
計畫ありと云ふも即
あるべしと同地より

○新刊書、雜誌　繪本
錢）は清水市次郎氏の
治十五年朝鮮變亂に至
に記述したるものなり
（英文）はこの程發行せ
（七月）、歌舞伎新報六百
二百三十七號（八月五
交詢雜誌二百三十一號
八月五日、The Tokyo
The Anglo-Japanese Re
Zasshi十五號（八月十日

Better squinting tha
Fair words please th
目くぶよりも瞞よらま
巧言は愚人を悦ばし

A certain Austin landlord
given to speaking before he
ore, his new tenant "Good m
to see you looking so well. Ho
indeed." "Glad to hear it; yo
I hope to die in the house."
that way."—Texas Siftings.

家主某氏あり曰上澤山
癖あり或日我持家の新